

## 南砺市民病院ドクターカーの役割

### 1 ドクターカーについて

ドクターカーは、医師や看護師が同乗し、必要な医療資機材を積載して、現場や搬送途中の患者に早期に高度な医療を提供することを目的とした車両です。これにより、病院前救護（プレホスピタルケア）の質を高め、救命率向上や後遺症軽減に貢献します。

### 2 ドクターカーの存在意義

南砺市は面積が広く、山間部も抱えています。そのため、救急車が到着しても、どの病院へ搬送するべきか判断に時間を要する場合があります。また、「近い病院へ運べばよい」と思われがちですが、実際にはそう単純ではありません。

例えば、高度な専門治療が必要な患者を地域病院へ搬送すると、改めて転院搬送が必要になる場合があります。反対に、高齢者救急など地域で十分対応できる患者まで高度急性期病院へ搬送すると、本当に高度医療を必要とする患者の受入れに影響を与える可能性があります。

ドクターカーは現場で医師が患者の状態を確認し、以下を判断することによって、適切な医療につなげています。

- ① 南砺市民病院で対応できるのか
- ② 砺波総合病院など高度医療機関へ搬送すべきか
- ③ その他の専門医療機関が適しているのか

これらはドクターヘリが行っている役割と同じ考え方であり、**限られた医療資源を有効活用するための仕組み**です。つまり、ドクターカーは単なる搬送支援ではなく、**「必要な患者を、必要な病院へ、適切なタイミングでつなぐための地域医療の司令塔」としての役割**を担っています。高齢化と共に医療人材が不足し、また、医療機関間での機能分化が推進されていく時代において、南砺市の救急医療を維持・向上していくためには、こうした適切な搬送先選定の**仕組みがますます重要**になるものと考えます。

さらに、現場が遠隔地にある場合や救急車の現場到着が早い場合などには、ドクターカーが現場まで向かうのではなく、より迅速な合流が可能な地点や、基幹病院への搬送ルート上で合流する「ランデブー方式」を運用することができます。へき地からの救急搬送においては、平野部に比して搬送時間が長いことから、こうしたランデブー方式を検討することによって、へき地からの救急搬送に係る安全の質向上に繋げることも期待できます。

## 別添資料 6



| 救急車設置場所  | 救急車 | エリア         |
|----------|-----|-------------|
| 南砺消防署    | 2   | 福光・城端・井口    |
| 南砺消防署東分署 | 2   | 福野・井波・庄川・井波 |
| 平・上平     | 1   | 平・上平        |
| 利賀       | 1   | 利賀          |
| 小矢部津沢分署  | 2   | 福野          |

 救急要請があった場合

救急医療においては、「最も近い病院に搬送すること」が必ずしも最善ではありません。「患者さんの病状に応じて、適切な医療機関へ搬送する」。このことが、地域全体の医療資源をより効率的・効果的に活用することになり、患者さんの救命率の向上へとつながります。